

# 保環研ニュース

第55号 2005.10 福岡県保健環境研究所

## 目次

お知らせ	
保健・環境ジュニアサイエンスフェア	1
保健環境研究所成果発表会	
最近の話題	
いきいき福岡健康づくり 基礎調査報告から	2
最近の話題	
ダニが媒介する感染症	3
用語解説	
ジェネリック医薬品	3
連載	
食中毒を起こす細菌たち	
- 動物からくる食中毒細菌 - (1)	4
福岡県の川の生き物	
- 水辺の観察ガイド - (24)	



マダニ類(成虫)



ツツガムシ類(幼虫)

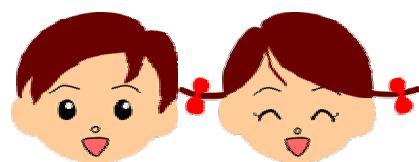
日本紅斑熱、ライム病、ツツガムシ病などの感染症を媒介するおそれのある代表的なダニ類

## お知らせ

### 保健・環境ジュニアサイエンスフェアを開催します！

簡単な実験やゲームをとおして、「私たちの健康」や「私たちをとりまく環境」を楽しく学びましょう！  
事前申込みや参加料は不要です。お友達やご家族みんなで遊びに来てください。

日 時：平成17年11月5日（土曜）10：00～16：00  
場 所：福岡県保健環境研究所（太宰府市大字向佐野39）  
対 象：小学生～大人  
その他の駐車場あり



### 福岡県保健環境研究所成果発表会を開催します！

県民の皆様の健康で快適な暮らしを守るために開催している、病気の予防や食品の安全、環境の保全に関する調査研究の成果を、研究者がわかりやすく発表・解説します。

事前申込や参加料は不要です。保健衛生や環境保全に興味のある方は是非ご参加ください。

日 時：平成17年11月25日（金曜）13：30～16：40  
場 所：福岡県福岡東総合庁舎（福岡市博多区博多駅東1丁目17-1）  
対 象：大人  
その他の駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

詳細はホームページ(<http://fihes.pref.fukuoka.jp>)をご覧いただけます。  
研究企画課（TEL 092-921-9941）にお問い合わせください。



## 最近の話題

## いきいき福岡健康づくり基礎調査報告から

「いきいき健康ふくおか21」をご存知ですか？福岡県では健康づくり基本指針を策定し、県民の皆様の健康づくりを支援しています。現在の日本は高齢化が年々進み、要介護者の数は増加しています。また、三大死因である「悪性新生物」、「心疾患」、「脳血管疾患」による死亡率は、全死因に対して59.2%と半数以上を占めています。このような、健康問題に対して、厚生労働省は「健康日本21」という国民健康づくり運動の指針を公表し、健康づくりを推進しています。これを受け、福岡県でも取り組みを行っています。いきいき健康ふくおか21の取り組み期間は、平成13～22年度の10年間で、中間年度の平成17年度には中間評価を行います。中間評価を行うにあたり、いきいき福岡健康づくり基礎調査が行われましたのでご紹介します。

今回行われた調査は「身体状況調査」、「栄養摂取状況調査」、「健康・生活習慣状況調査」です。調査は福岡県（政令市を除く）の世帯及び世帯員を対象とし、無作為に抽出した方にご協力いただきました。

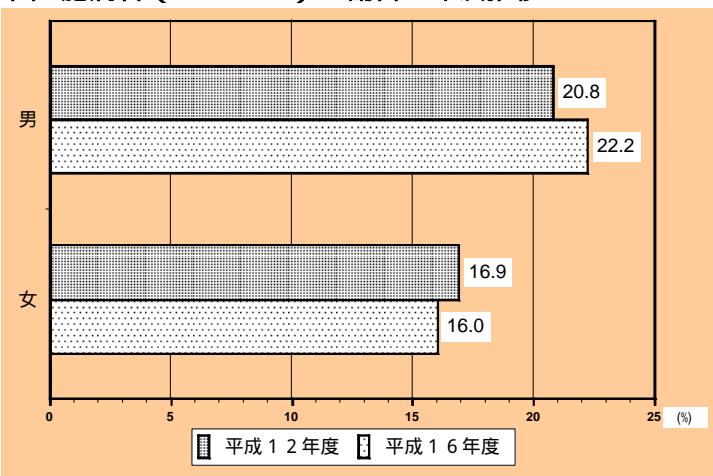
ここで、調査結果の一部をご紹介します。

「身体状況調査」からは肥満者の割合の年次推移をご紹介します（図1）。ここで用いられているBMI<sup>(\*)</sup>とは、体格指数のことです。世界で用いられています。この結果から、男性は平成12年度より肥満者が増加し、女性は減少していることがわかります。

(\*)BMI=体重kg / (身長m)<sup>2</sup>

肥満の判定基準は、「日本肥満学会による肥満の判定基準」より、やせ18.5未満、普通18.5以上25.0未満、肥満25.0以上

図1 肥満者（BMI 25）の割合の年次推移



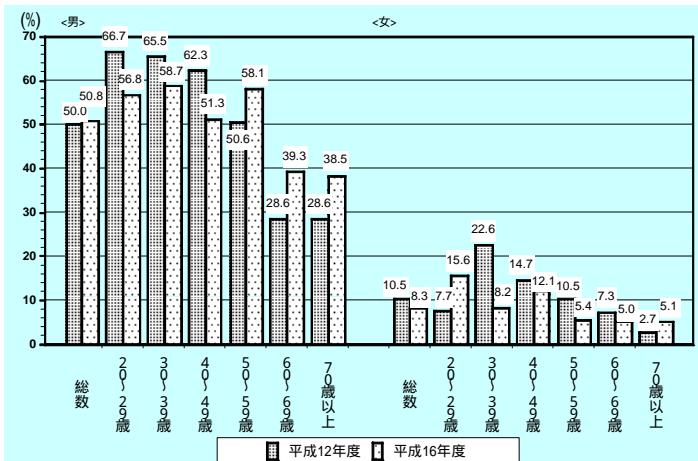
「栄養摂取状況調査」からは栄養素等摂取量の年次推移をご紹介します（表1）。平成12年度と平成16年度のエネルギー摂取量はほぼ同水準です。栄養のバランスを見るために、穀類エネルギー比（総エネルギーに対して穀類エネルギーの占める割合）を算出しています。一般的な目安としては50～60%で、平成12年度と平成16年度では、減少傾向で目安に達していません。

表1 栄養素等摂取量の年次推移

栄 養 素 別	平成6年度 (1994)	平成12年度 (2000)
エネルギー kcal	1,995	1,873
たんぱく質 g	79.6	78.1
うち動物性 g	41.5	42.1
脂質 g	55.0	55.3
うち動物性 g	27.6	28.0
炭水化物 g	286	256
カルシウム mg	556	516
鉄 mg	11.8	11.6
食塩(ナトリウム × 2.54 / 1,000) g	12.2	12.1
ビタミン B <sub>1</sub> mg	1.28	1.10
ビタミン B <sub>2</sub> mg	1.58	1.43
ビタミン C mg	123	128
穀類エネルギー比 %	46.5	43.3
動物性たんぱく質比 %	52.1	54.0

「健康・生活習慣状況調査」からは、喫煙習慣者の割合をご紹介します。喫煙習慣のある人は、男性50.8%、女性8.3%、最も喫煙率が高いのは、男性30歳代、女性20歳代となっています。喫煙習慣者の割合については特に目安はありませんが、減少に努めることになっていますので、今後も減少に向けた取り組みが行われる予定です。

図2 喫煙習慣者の割合（性・年齢階級別）



今回は、基礎調査の調査分野別に1つずつ結果をご紹介しましたが、この他にも様々な調査結果がありますので、ご自分の生活と福岡県の現状を照らし合わせて、健康づくりの参考にしてみてください。

「平成16年度いきいき福岡健康づくり基礎調査報告書」（平成17年3月発行）の閲覧を希望される方は、福岡県庁県民情報センター、地区県民情報センター（北九州・筑後・筑豊・京築）へお問い合わせください。また、福岡県保健環境研究所のホームページでも調査の概要及び結果の概要を公開予定です。

（情報管理課 高尾 佳子）

## 最近の話題

## ダニが媒介する感染症

我が国では、約1,700種のダニが報告されていますが、その中には、動物に寄生して栄養を得ているものがあります。その中の一部は、ヒトに感染して病気を引き起こす病原体を持っています。代表的な病気は、ツツガムシ病、日本紅斑熱、ライム病などです。以下、それぞれの病気について説明します。

ツツガムシ病

病原体であるリケッチャを持っているダニの1種のツツガムシ類に刺されることで感染します。ツツガムシ類は、成虫や若虫の時には寄生せずに幼虫の時期にのみほ乳類、特に野ネズミなどに寄生します。ヒトには、タマゴがふ化する春と秋に吸血します。主な症状としては、発熱、頭痛、手掌を除く全身の発疹などで、多くの場合刺し口を中心とした約1cmの紅斑が見られます。



日本紅斑熱

ツツガムシ病と同じように、リケッチャを持っているマダニ類に刺されことで感染します。マダニ類は、ツツガムシと違って冬以外の季節には吸血します。ヒトでは、4月から10月に感染の報告があります。症状は、ツツガムシ病と似ていますが、発疹は手掌にも現れます。

ライム病

スピロヘータと呼ばれる微生物によって引き起こされる病気です。ヒトには、スピロヘータを持っているマダニ類に刺されることで感染します。症状は、初め刺し口を中心とする同心円状に広がる紅斑が現れます。その後しばらくして、種々の臓器に慢性的な炎症が起きます。



これらの病気は、野山での作業や山菜取り、ハイキングなどの行楽の時に衣服に付いたダニに吸血されることで感染します。野山へ出かける時は、肌の露出が少ない服装で出かけ、帰宅後はすぐに着替えるなどして、刺されないように心がけましょう。また、刺された場合には、抗生物質による治療が有効なので、疑わしい場合も含めて医療機関を受診しましょう。

(ウイルス課 石橋 哲也)

用語解説

ジェネリック医薬品

現在、医療機関で保険診療に用いられる医療用医薬品は約1万種類あります。この中で、新しい化合物、新規の配合・用途により新たな効能・効果を持ち、臨床試験・治験によって、治療目的とする効能・効果に対する有効性や安全性が確認され、承認された医薬品を新薬といいます。この新薬の再審査期間及び特許が消滅した後に、成分・分量、効能・効果、剤型等が新薬と同一で生物学的に同等性をもっていると承認される医薬品が「ジェネリック医薬品」(Generic Drug、GE)です。また、GEを「後発医薬品」、新薬を「先発医薬品」と言います。最近、製薬業界等で、「ジェネリック」の呼称を使用することが一般的になっています。



(生活化学課 毛利 隆美)

## 連載 食中毒を起こす細菌たち 動物からくる食中毒細菌 (1) 全3回

食中毒細菌のすみかは、動物、海、土に大きく分けられます。食中毒細菌は動物の腸内に保有されている場合が多く、食中毒細菌として代表的なカンピロバクターは鶏や牛、サルモネラはほとんどの動物、O157に代表される腸管出血性大腸菌は牛や豚の便から検出されます。しかし、検出された動物自身は下痢などの症状を示している場合は少ないようです。動物の腸にいる細菌は、動物を食肉に処理する過程で肉や内臓に付着します。肉やレバーなどの内臓を生であるいは生焼けの状態で食べた場合に食中毒が起きます。これらの菌は、加熱が十分なされていれば食中毒の心配はありません。また、サルモネラの一一種であるサルモネラ・エンテリティディスは、鶏卵から1,000～10,000個に1個の割合で検出されます。通常、鶏卵の中にサルモネラが検出される場合でも、その菌数は少量です。けれども、鶏卵を調理して長時間放置したり、鶏卵を調理した器具の洗浄が悪かったりすると食中毒が起きます。したがって、鶏卵は買ってすぐに冷蔵庫で保存し賞味期限内に調理後直ちに食べれば問題はありません。いずれにしても、食品には細菌が付着していることを私たち自身が認識することが、食中毒を防ぐ大きな力となります。

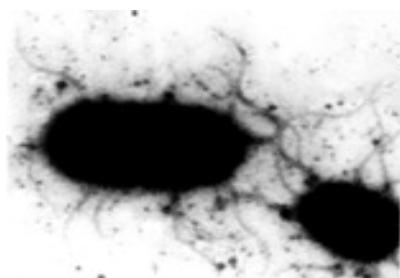
(病理細菌課 堀川 和美)



カンピロバクター



サルモネラ



腸管出血性大腸菌O157

## 連載 福岡県の川の生き物 - 水辺の観察ガイド - (24)

### ガガンボ科

ガガンボの成虫は巨大な蚊のような形をしており、ご存知の方も多いと思います。土壤中で幼虫が成育する種もありますが、水生の種も多数知られており、川でもよく見つかります。ガガンボの幼虫は脚がなく、どちらが前か後かよくわからない形をしていますが、管状の呼吸管がついている方が後方で、その反対側が頭部です。水辺教室等で最も目立つのは植物の根際などで採集されるキリウジガガンボ属で、そのほか砂の中でクロヒメガガンボ属が、瀬ではウスバヒメガガンボ属がよく見つかります。

(環境生物課 緒方 健)



ガガンボ成虫



キリウジガガンボ属の1種



クロヒメガガンボ属の1種



ウスバヒメガガンボ属の1種

保環研ニュース 第55号 平成17年10月発行

編集発行 福岡県保健環境研究所 研究企画課  
〒818-0135  
福岡県太宰府市大字向佐野39  
TEL (092)921-9941  
FAX (092)928-1203

ホームページもご覧ください。  
<http://www.fihes.pref.fukuoka.jp>

本誌は、再生紙を使用しています。